

# ハチ博士の ミツバチコラム

28



京都学園大学  
バイオ環境学部  
坂本文夫教授

## モクゲンジ

6年前に舞鶴市の方からいただいたモクゲンジの苗が5メートル程に成長して、今年は沢山の花と実をつけました。南方から暖流に乗って種子が流れ着いたために、日本では主に西日本の海岸沿いに分布していますが、世界各地で見られ、英名はゴールデン・レイン・ツリーだそうです。咲き終わった黄金色の花が雨粒のように落花するからでしょう。花が次々と咲くので花期が長く、蜜源が乏しくなる夏に咲くのでミツバチ達がワーンワーンと羽音が聞こえる位沢山訪花します。モクゲンジと同じムクロシ科にはリュウガン、レイシ、ムクロシなど有名な蜜源植物があり、蜜の味も良いのではないかと推測します。



イラスト おおくほひとみさん

花が終わるとホオズキの様な袋の中に実がなり、遠くから見ると鈴なりになった袋がまた花の様に見えます。モクゲンジの別名はセンダンバナボダイシュで、梅檀(センダン)の葉をした菩提樹という意味です。菩提樹と同様にその黒い実で数珠を作ったところからそう呼ばれていて、モクゲンジが寺院などで好んで植えられている理由です。今年には3本のモクゲンジに

立派な花が咲き、ミツバチ達の訪花により実がなり、沢山の種子を取ることができました。モクゲンジは成長も早く数年で花が咲き蜜源になるし、花も楽しめます。大きくなり過ぎたら幹を切っても脇芽に花を咲かすことができます。コラムの読者で種が欲しい方には差し上げます。木を植える場所がある方はぜひ育ててみてください。

### ★モクゲンジの種 プレゼント！

11月17日(月)から先着50名様に種をプレゼントします。希望者は区役所4階地域力推進室までお越しください(平日午前9時半〜午後5時まで)。



中京区役所屋上 モクゲンジの木